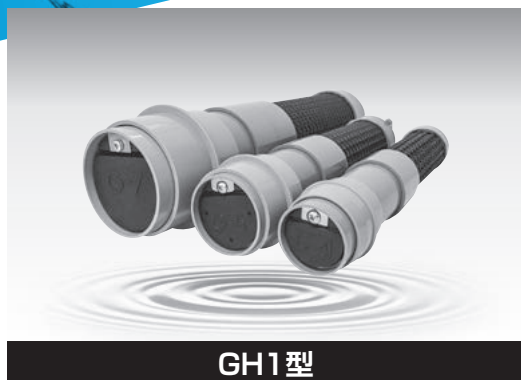


既設水路において、背面よりの浸透水による影響で亀裂が起きた場合や、浮き上がりの心配がある場合、重点的に施工する製品です。



GH1型  
コンクリート用



GH2型  
鋼矢板用

## 特 長

### ● 後施工可能 ●

本体先端が杭先状で  
差し込み易い

### ● 施工による弁体損傷なし ●

弁は本体施工終了後  
取付可能

### ● 簡単取付 ●

鋼矢板の前面から容易に取付可能  
(GH2型のみ)

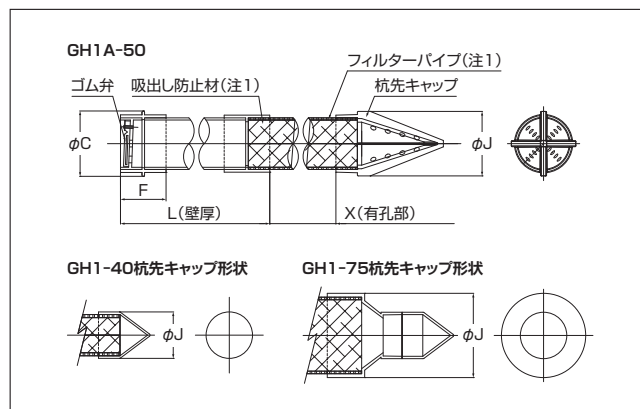
## 仕 様

### GH1型 打込式ウィープホール (コンクリート用)

(単位: mm)

品 番	C	F	J	L (壁厚)	X (有孔部)
GH1-40	60	47	54	ご指示寸法	140
GH1A-50	76	53	75		140
GH1-75	115	84	98		200

※X寸法変更の場合は、ご相談下さい。



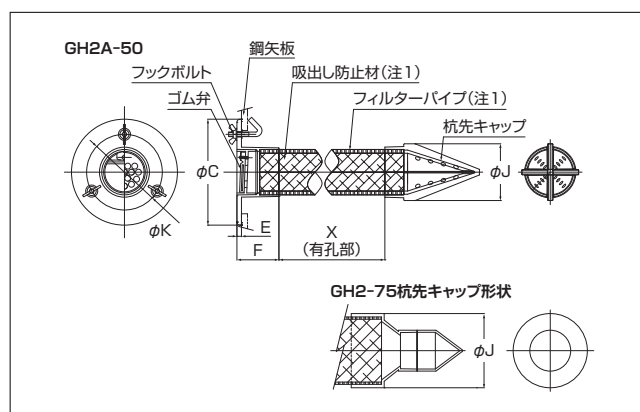
※サイズにより形状が異なります。  
(注1) フィルターパイプはPE、吸出し防止材は合繊不織布です。

### GH2型 打込式ウィープホール (鋼矢板用)

(単位: mm)

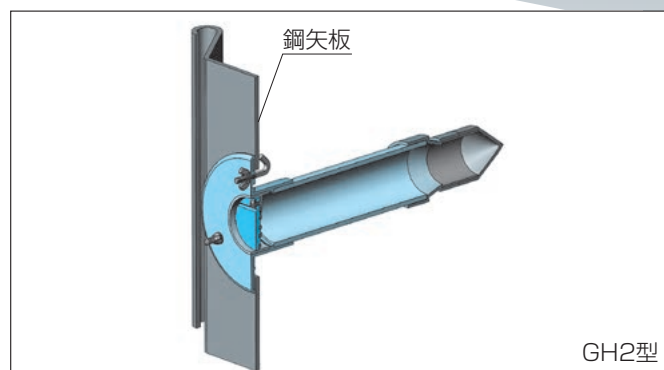
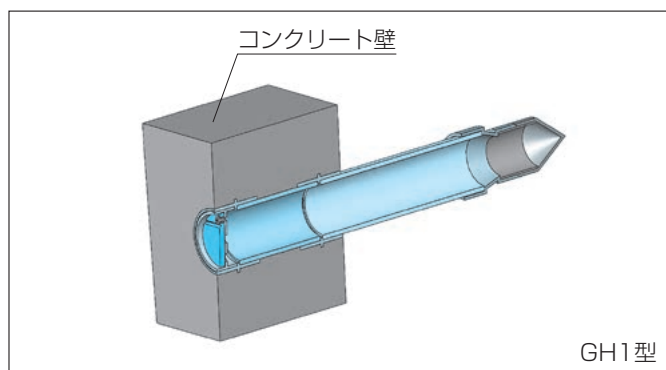
品 番	C	E	F	J	K	X(有孔部)
GH2A-50	140	6	55	75	100	140
GH2-75	180	40	84	98	140	200

※鋼矢板の削孔寸法は、 $\phi(K+10)$ mmとします。  
※X寸法変更の場合は、ご相談下さい。



※サイズにより形状が異なります。  
(注1) フィルターパイプはPE、吸出し防止材は合繊不織布です。

## 取付図



## 取付方法

### GH1型

#### コンクリートの場合

設置箇所を決定し、コンクリート壁及び埋戻し部を削孔して下さい。

本体差し込み後、すきまにコンクリート、またはモルタルで間詰めして下さい。ソケット清掃後、弁を差し込んで下さい。

### GH2型

#### 鋼矢板の場合

- ①設置箇所を決定し、J寸法で削孔します。
- ②削孔後に鋼矢板のバリを取り除いて下さい。
- ③打込式ウィーブホールが挿入できる分の長さの削孔を埋戻し部にも施して下さい。
- ④本体を挿入後、プレートと鋼矢板が密着するようにしフックボルト頭部の印を外側に向け、蝶ナットを締め付け固定します。
- ⑤周囲をコーキングして下さい。
- ⑥ソケット内部を清掃後、弁を差し込んで下さい。



ご注意

本体挿入時に、たたき込みをされますと、本体が合成樹脂製のため破損する可能性があります。差し込む程度で施工して下さい。

## 現場写真

